

# 幼児教育コーディネーター概論

## 第13講 「親子のコミュニケーションを分析する」

久世 均(岐阜女子大学)

## 第13講 「親子のコミュニケーションを分析する」

### 【目的】

活動を教育として適用するためには、活動についての親子の状況を調査し、親子の共同学習として、どのような指導方法、展開をさせるか検討する必要がある。そこで、この「動く紙おもちゃ作り」の教材化と意識の調査を考える。

### 【学習到達目標】

- コミュニケーションの定義について説明できる。
- コミュニケーションを促す講座の設計について説明できる。

# 第13講 「親子のコミュニケーションを分析する」

## 教材化と意識の調査

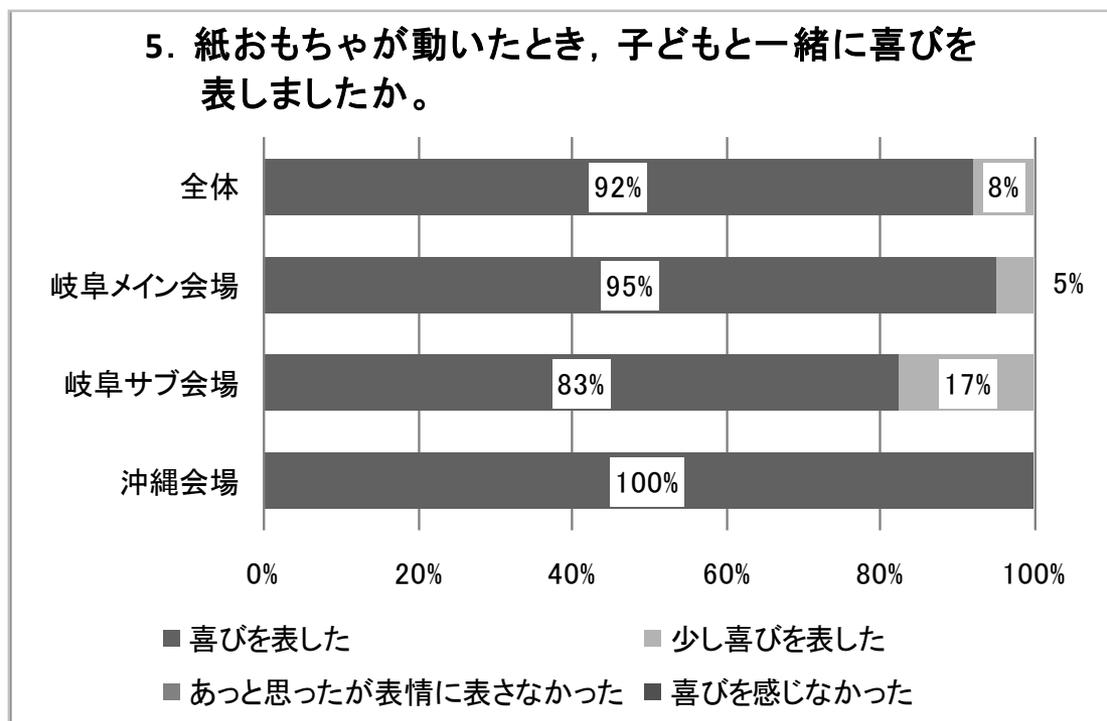


図1 感動体験

# 第13講 「親子のコミュニケーションを分析する」

## 教材化と意識の調査

I. (1)～(6)の作り方の説明ついて、あてはまる番号に○をつけてください。

	分かりやすかった			分かりづらかった		
1. 「コマ」	1	2	3	4		
2. 「カラカラ」	1	2	3	4		
3. くるくる紙トンボ	1	2	3	4		
4. ネコ	1	2	3	4		
5. おばけ	1	2	3	4		
6. インコ	1	2	3	4		

II. 以下の質問について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. このおもちゃづくりのように、幼児・児童教育における「ものづくり」活動についてどう思いますか。  
①必要である ②やや必要である ③あまり必要でない ④必要でない

2. 「紙おもちゃ」は、学習教材として効果的だと思いますか。  
①効果的 ②やや効果的 ③あまり効果的でない ④効果的でない

ご意見（どのように活用できると思われますか。）  
例：幼稚園での「表現」の中の「いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ」において活用できる。

3. またこのような機会があれば参加したいと思いますか。  
①是非参加したい ②参加したい ③あまり参加したくない ④参加しない

4. 「紙おもちゃづくりを学ぶ」に参加されて、この講座に対してどのようなイメージを持たれましたか。（答え方の例：「取り組みやすい感じ=1 を選べば最もそう感じ、5 は難しく感じる」ということです。）

(1) 取り組みやすい感じ	1	2	3	4	5	難しい
(2) 楽しい感じ	1	2	3	4	5	つまらない
(3) 明るい感じ	1	2	3	4	5	暗い
(4) 活発な感じ	1	2	3	4	5	静か
(5) 変化に富む	1	2	3	4	5	ありきたり
(6) 考えが広がる	1	2	3	4	5	広がりはない
(7) 新鮮な感じ	1	2	3	4	5	古い感じ
(8) 奥が深い	1	2	3	4	5	浅い
(9) 飽きない	1	2	3	4	5	飽きる
(10) 共同活動向き	1	2	3	4	5	個人向き

(誰かと一緒にやるとよい) (一人で取り組む)

図2 アンケート項目

# 第13講 「親子のコミュニケーションを分析する」

## 教材化と意識の調査

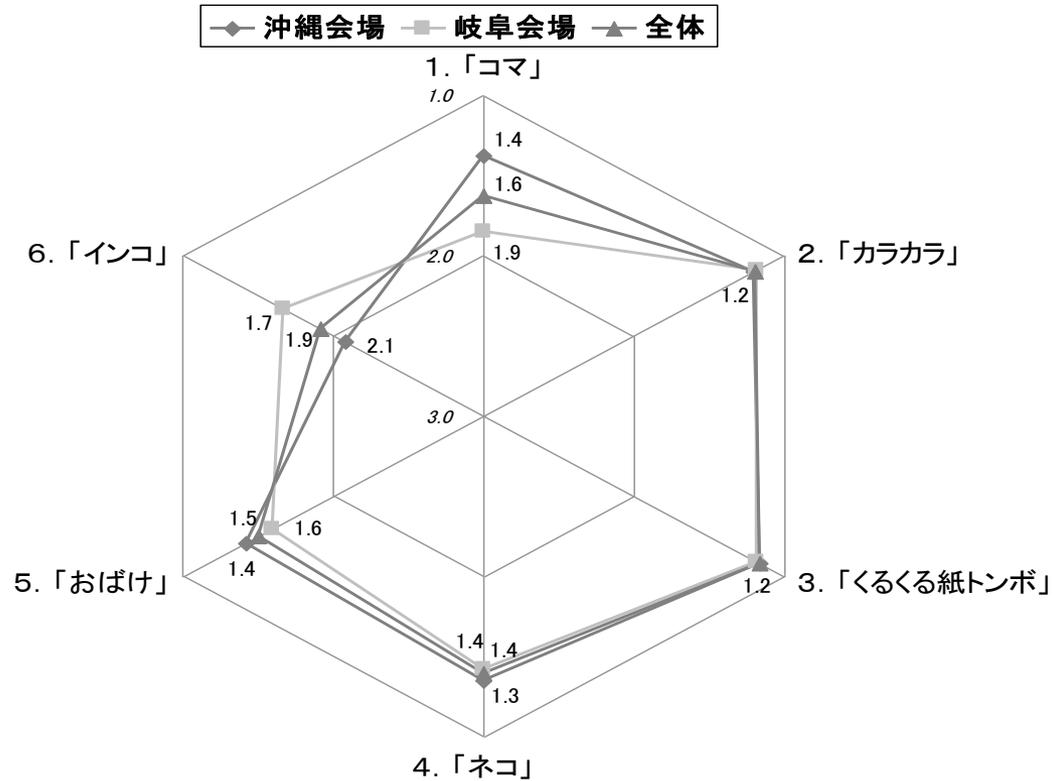


図3 作り方の理解度

# 第13講 「親子のコミュニケーションを分析する」

## 教材化と意識の調査

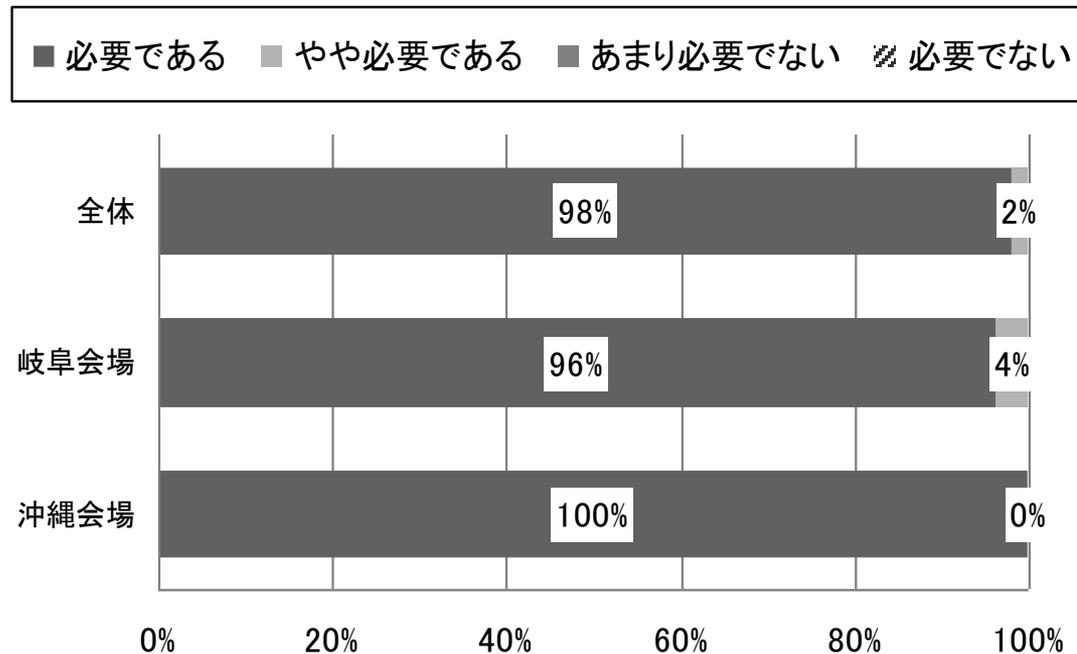
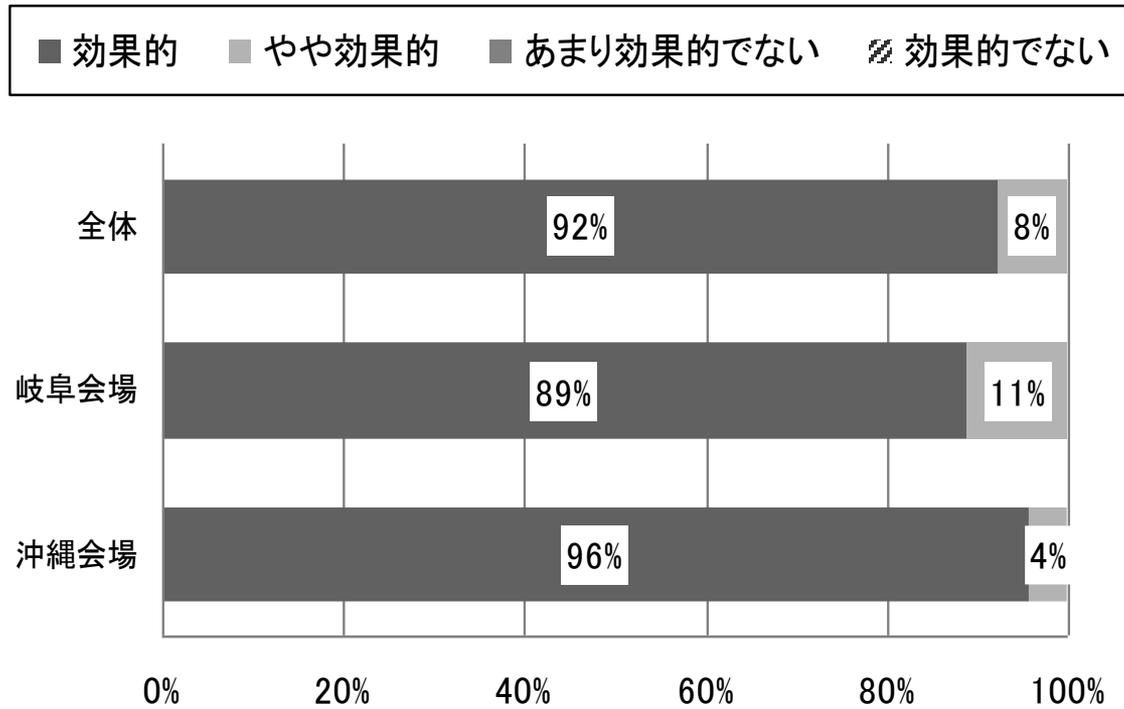


図4 「ものづくり」活動の必要性

## 教材化と意識の調査



## 教材化と意識の調査

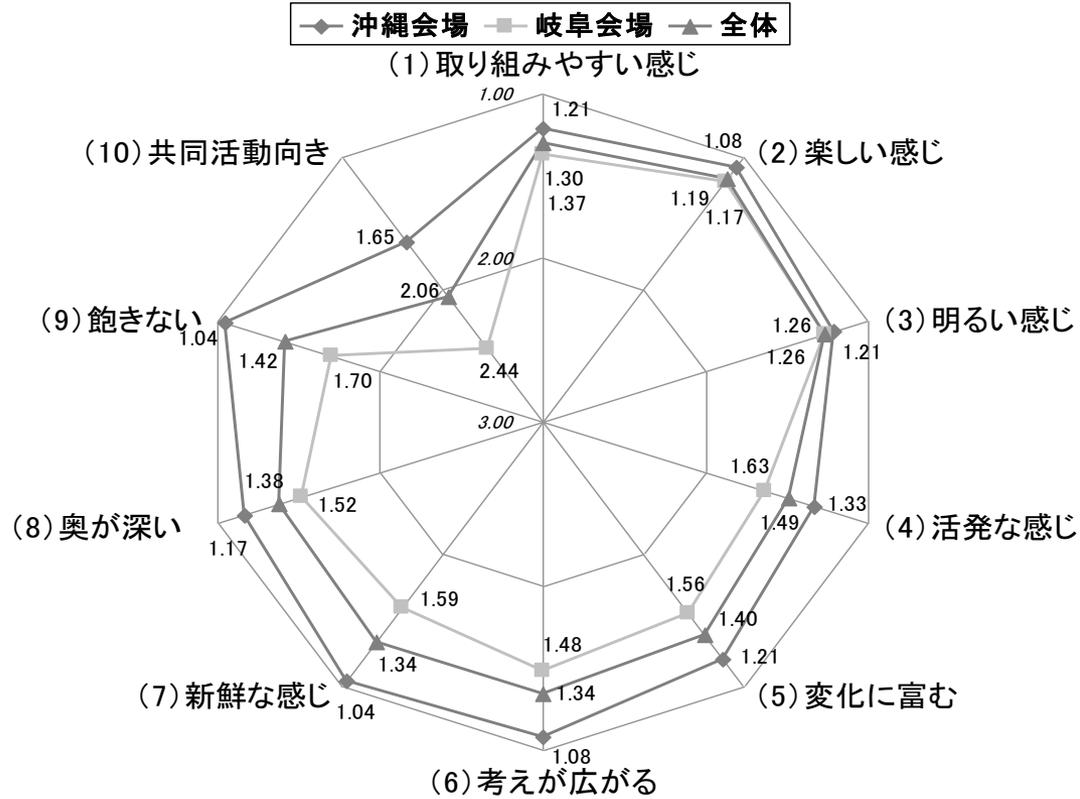


図6 講座に対するイメージ

## 教材化と意識の調査

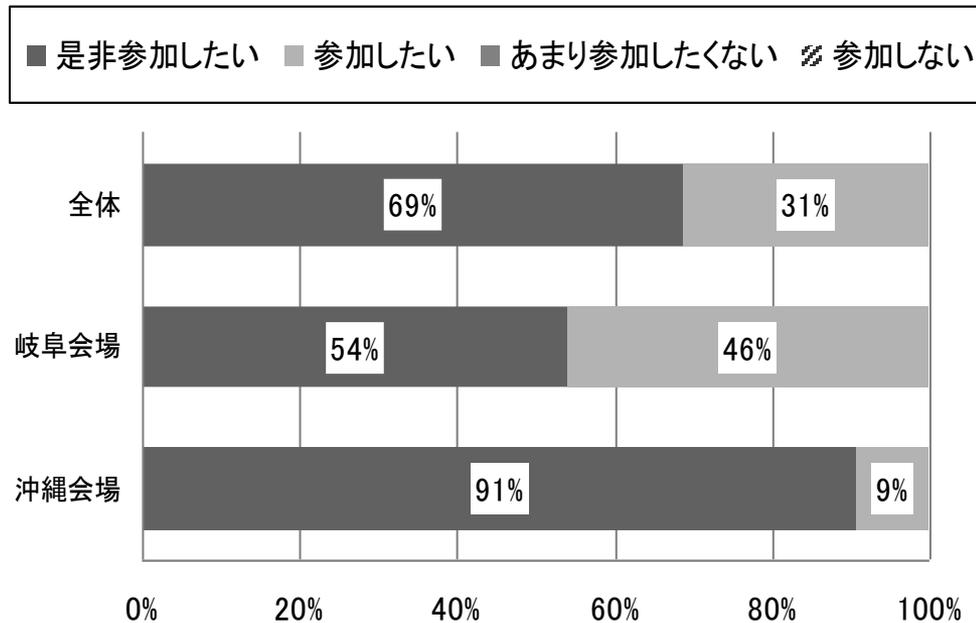


図7 今後の教室への参加意思

# 課題

1. コミュニケーションの定義について具体的に説明しなさい。
2. コミュニケーションを促す講座を設計しなさい。
3. コミュニケーションに関する独自の調査用紙を作成しなさい。

## 第13講 「親子のコミュニケーションを分析する」

### 【目的】

このような活動を教育として適用するためには、活動についての親子の状況を調査し、親子の共同学習として、どのような指導方法、展開をさせるか検討する必要がある。そこで、この「動く紙おもちゃ作り」の教材化と意識の調査を考える。

### 【学習到達目標】

- コミュニケーションの定義について説明できる。
- コミュニケーションを促す講座の設計について説明できる。

# 幼児教育コーディネーター概論

## 第13講 「親子のコミュニケーションを分析する」

久世 均(岐阜女子大学)